

知って当たり前

介護ガイド帳



上原喜光

先週、立て続けに介護殺人がありました。

千葉市では、息子夫婦と暮らす81歳の男性が、78歳の妻の首を自分の手で絞め殺しました。翌日、藤沢市の有料老人ホームで85歳男性も79歳の妻の首を絞めました。どちらも理由は「介護に疲れた」とのこと。家族やホーム職員が近くにいたのに…と思う人もいるでしょうが、これが今の現実です。

夫が苦楽を共にしてきた妻に手をかける。こんな現実が現代の日本で起こっていること自体が悲しい。老老介護の末の殺人。老人の孤独死。この頃は、メディアも「地域で見守りを」と盛んに主張していますが、ほとんどは安否確認のための見守りです。生きているか死んでいるかを確認してどうするの？ 介護でクタクタの人の〈心の安否〉を確認する

30代独身のあなたは介護ができませんか？

のが先でしょう。

働き盛りの30代、40代の独身男女が、突然、親の介護をするケースも増えています。もちろん、結婚は遠のく。〈ひとりで悩まない〉〈使える制度は何でも使う〉〈過度にのめ

りこまない〉が一番ですが、30代、40代になったら、介護保険や各種サービスの利用方法などの基礎知識は押さえておいて損はない。シングル介護を行う心



構えを知りたいければ、拙著「親の介護と仕事を両立させる本」（秀和システム）も参考にしてみてください。

行政とボランティアはとことん利用すればいいのです。何度も言っていますが、簡単に仕事を辞めてはいけませんよ。

（全国介護者支援協議会会長）